

寅さん歩 その20

官公庁の食堂めぐり-20 杉並区役所



平野 武宏

昨年は東京の大学の学食を食べ歩きました。「寅さん歩」の愛読者から「次はお役所や企業の食堂をお願いします」との声がありました。日本の中枢、中央合同庁舎のある霞が関・大手町や東京 2020 オリンピック・パラリンピック開催で盛り上がっている東京都庁の食堂を訪問しました。これからは東京 23 区の区役所の食堂を訪問します。

東京 23 区に番号が付いているのを初めて知りました。そのもとは旧自治省（現総務省）がつくったコード番号表です。旧江戸城＝皇居や霞が関官庁街のある千代田区が 1 番です。千代田区を中心に、ここから「の」字にぐるぐる回る順番のようです。

今回は 15 番の杉並区です。このテーマは訪れるだけでなく、実際に食べて・コメントが必要です。取材やコメントでは関係者にご迷惑をかけないように配慮します。メニューの選択やコメントはあくまでも「寅次郎の好み・独断」としてお読みください。室内の写真撮影は人物の顔が写り込まないことが原則です。メニューや値段は訪問時のもので、最寄り駅は代表例です。

〔杉並区役所〕 杉並区阿佐ヶ谷南 1-15-1

最寄駅 丸の内線 南阿佐ヶ谷駅

地名の由来は江戸初期に成宗と田端両村の領主岡部氏が領地の境のしるしとして青梅街道沿いに植えた杉並木があったことに始まります。

1943 年（昭和 18 年）杉並・和田堀・井荻・高井戸の四町が合併、杉並区が誕生。人口が多い杉並町に区役所が置かれ必然的に区名も杉並となったとのこと。井草川、妙正寺川、善福寺川、神田川が東流し、流域には 180 ヶ所の遺跡が点在しています。水の豊かな流域には約 3 万年前から人々が生活していました。奈良時代以降、武蔵国の国府が府中に置かれると、府中から豊島や下総国へ抜ける道が杉並区内を通ったと考えられます。江戸時代には甲州街道の宿駅である高井戸宿の整備や新田開発などが行われ、江戸の近郊農村として野菜などを供給する機能を担いました。明治時代には甲武鉄道（現在の中央線）の開通や区画整理事業の完成、関東大震災を契機に東京の近郊住宅地としてめざましい発展を続け、文化人も多く住んでいるとのこと。

南阿佐ヶ谷駅を出ると区役所（写真右）の入口です。
中央線阿佐ヶ谷駅南口からも歩いて来られます。



〔杉並区役所 レストラン〕

区役所内案内板に食堂はなく受付嬢に聞くと1F
正面入口の左に喫茶室（写真下）があるとのこと。



メニューはサンドセット
A 350 円、B 450 円、
チーズトースト 270 円、
たまごトースト 350 円、
お揚げうどん 520 円、
ハヤシライス 650 円、
ミックスサンド 500 円
他の軽食です。

杉並区教育委員会の「杉並区史跡散歩地図」によるとA：井草から天沼へ、B：荻窪八幡神社から地藏坂へ、C：荻窪界限、D：成宗・田端両村界限、E：高井戸から五日市街道へ、F：梅里の寺町周辺、G：阿佐谷界限、H：桃園川と高円寺の寺町、I：堀ノ内妙法寺周辺、J：方南町から鍋屋横丁へ、K：和田掘公園周辺、L：甲州街道と神田川、M：永福の寺町周辺、N：玉川上水周辺の地域別に14のコースに分けて文化財や史跡を紹介しています。

「寅さん歩」の杉並区紹介は次の通りで、番号は「寅さん歩」の目次番号です。
東京発祥之地めぐり：13、東京の富士塚めぐり：28、健康ご利益めぐり：65
江戸・東京の祭り：88、江戸・東京（23区）の百名山：146、東京の紅葉・黄葉：151
お江戸の閻魔大王：158、東京の桜：205、220、東京の学食めぐり：200

杉並区の木は「スギ、アケボノスギ、イチヨウ」、花は「サザンカ」です。



〔バーチャルウォーク 途中経過〕

2018年10月1日沖縄県辺戸岬をスタートした聖火は
沖縄県那覇市から鹿児島県、宮崎県、大分県、福岡県、
山口県、広島県、岡山県を経て兵庫県に入っています。
2019年7月3日現在、スタートから1060kmの地点を
通過しました。

ウォーキングでは人や自然との多くの「出会い・ふれあい」があります。寅次郎も「映画の寅さん」に負けないくらいの人との出会いがあります。ご迷惑をかけない範囲でご紹介します。

[寅次郎がウォーキングで出会った人-19]

～ 何事にも熱心に取り組む 絵心を持ったウォーカーです ～

1999年（平成11年）4月F W Aに入会（当時67歳）の大牟田宏さんです。

奥様真理子さんも同時に入会のおしどりウォーカーです。

大牟田さんがウォーキングを始めたのは、横浜でお勤め中の1995年（平成7年）

「横浜シティウォーク」参加が最初とのこと。大会は10km～40kmのコースがあり、几帳面な大牟田さん、国府津から自宅のある藤沢市善行までテスト歩行を行い30kmコースを申し込んだそうです。その後、神奈川県歩け歩け協会の例会を新聞で知り、参加しましたが、例会の仕組みを教えてください人に出会えなかったため、藤沢にも歩け歩け協会があると知り、電話で即刻に入会申し込みをしたそうです。

金融関係のお仕事をされていたとこのことで、F W Aでは2001年（平成13年）から**会計監事、理事**を務めて頂きました。

寅次郎、2006年（平成18年）会長就任の最初の大仕事は協会運営体制の改革でした。小さな組織でスタートしたF W Aの理事は年功的な位置づけで、協会の重要事項を審議・決定する理事会には人数が多すぎて機能できず、理事の数を会議が出来る人数に削減し、その代わりに理事会報告や理事以外のスタッフが意見を言える場としてスタッフ全員参加の業務連絡会を定めました。理事にならない人にはアドバイザーや幹事をお願いしましたが、理事の肩書にはこだわる人がいて、「理事の定年制導入か」とか、「理事降格は会社で言えば取締役から平社員になること」と憤慨、退会した人もいて驚きました。

大牟田さんには会計などのアドバイザーをお願いする話の中で「理事会でどんな議論がされているか、分かるようにして欲しい」と冷静にお願いされたことを覚えています。そんな事もあって議論の詳細を記載の理事会議事録の作成を八柳さんをお願いしました。

健康に留意されウォーキングを欠かさない大牟田さん、藤沢市内からご自宅の善行まで境川沿いを歩いて帰る姿に寅次郎、お会いしたことがあります。

大牟田さん、荷物を持って後ろを歩いていた奥様に「みかんを差し上げるように」と命じていました。九州男児とは存じていましたが「亭主関白な方だ」と羨ましく思いました。

ウォーキングを始める前は「神社仏閣めぐり」にかなり入れ込んだとのこと。

特に仏閣に付随する塔婆に心を惹かれ、ガイド本21冊を買い揃え、坂東三十三観音

霊場、西国三十三観音霊場、秩父観音霊場等全国に足を運んだそうです。

2004年(平成16年)4月には72歳で四国霊場八十八か所めぐりを結願されました。

写真上右は東京都中野・宝仙寺の三重塔で江戸六塔婆のひとつで1636年(寛永13年)建立の珍しい飛鳥様式とのこと。



地球一周四万キロは1999年1月～2013年1月(平成25年)の14年をかけて達成しています。申し遅れましたが、奥様もF W A年間完全完歩を2度も達成されたウォーカーです。小柄な身体に恐るべき強さが潜んでいます。

神社仏閣への興味があったので、勤め先の先輩や仲間が仏画の模写に取り組んでいるクラブの存在を知って、2000年(平成12年)に入会、以来、仏画、古典絵巻、屏風絵の模写から日本画へと間口を広め、2年に1回、仲間同士で習作展を横浜で開いているとのこと。

写真右は2016年(平成28年)第66回藤沢市展美術の部「絵画部門」で市議会議長賞を受賞された「影模様」です。

大会誌でのコメントは「良く見ると墨と色彩のコントラストは点描でカーテンを透かして見えるトーンが控え目で美しい。構成も干柿の色彩と空の縦の位置も納得出来てハッとする程である。

小品ながら神経の通った絵である」と記載。

F W A会報新春号では毎年、会員の作品をカラー印刷で紹介していますが、大牟田さんは日本画の常連です。



大牟田さんとは寅次郎が東京に移住してからの付き合いが深まりました。

きっかけは移住してしばらくF W A例会に出ずにいた時にJ Rの「駅からハイキング&ウォーキング」で池袋駅から寅次郎の住まいの近くを歩くコースがあったので、F W Aスタッフに「一緒歩きませんか」と声をかけた時、奥様と来られたのが当時80歳の太牟田さんでした。

2013年4月～2014年4月にかけて12回開催の「富士山麓一周ウォーク」(北口本宮富士浅間神社から時計回りで富士山麓を一周)のツアー後のテーマを探していたようでした。東京の庭園に興味を示され、「都立庭園めぐり」を自ら企画、奥様の友人を中心に約20名で2014年(平成26年)5月に旧古河庭園をスタート、1年後には江戸四宿場、江戸六地藏、江戸五色不動、東京十社(元准勅祭社の12社から定められた東京近郊の10社)、東京五社(歴史的、格式の高い5社)、新東京五社(江戸城を囲むパワースポット5社)等を探訪し、2016年(平成28年)6月からは「気まぐれ探訪」と名を変え

て毎月開催(8月はお休み)、実に5年間も続いています。地図や実施記録作成の大牟田さん、すっかりパソコン技術の腕前を上げています。

大牟田さんが次に行きたい場所のコース案を提示され、コース案内のお手伝いをする寅次郎、おかげさまで都内各地の見所を学ぶことが出来ました。

大牟田さん、ふるさと鹿児島から新国立競技場までの聖火を持ったバーチャルウォークにも取り組んでいるとのこと。(2019年6月中旬現在、広島県福山を通過だそうです)

寅次郎より10歳年上で「いつまでもウォーク」を実践する方です。

今回は **バーチャルウォークで聖火を新国立競技場へ-12** です。

平野 寅次郎 拝